

2026 年 8 月 13 日大雨による真砂バプテスト教会の被害について（第一報修正版）

2026 年 8 月 20 日

主の御名をあがめます。

2026 年 8 月 13 日から 14 日にかけて千葉県を襲った記録的な豪雨により、千葉市でも各地で冠水などの被害が発生しました。真砂バプテスト教会も、この豪雨により大きな浸水被害を受けました。

すでに多くの皆さまからお祈りとご心配をいただき、また復旧作業にもご協力いただいておりますことを、心より感謝申し上げます。現在も被害の全容を確認しながら復旧作業を進めていますが、第一報として、現時点での状況をご報告いたします。

教会の礼拝堂は半地下にあり、今回の大雨によって床上約 60cm まで浸水しました。長時間にわたって汚水に浸かったため、礼拝堂内で使用していた椅子、講壇、机などの家具類は、ほぼすべて廃棄することとなりました。また、音響機器やオルガンも浸水し、現状では使用できない状態です。ピアノについても、今後使用できるかどうかはまだ分かっていません。

現在、礼拝堂内の排水と洗浄作業はひとまず終わり、乾燥作業に入っています。しかし、床下にはまだ水が残っており、点検口もないため、床下の状況を十分に確認できていません。今後、床下の状態を確認し、残った水を除去したうえで、十分に乾燥させる必要があります。

さらに、床や壁は一日以上にわたって汚水に浸かっていたため、今後の調査によっては、床材を剥がして残った水を除去し、床下まで十分に乾燥させ、必要な処置を施したうえで修復する必要があります。壁にもかなりの傷みが見られ、建物内部についてどこまで修復が必要になるかは、まだ分からない状況です。実は、礼拝堂の浸水は 2010 年以来、今回が二度目となります。前回の被害は今回ほど大きなものではありませんでしたが、近年、気候変動を背景として大雨の頻度や規模が増す中、今回の被害によって、半地下にある礼拝堂の浸水リスクがあらためて明らかになりました。長年使用してきた会堂ではありますが、現在の建築・安全基準や今後の水害リスクも踏まえ、半地下の礼拝堂をこのまま使用し続けるのかを含め、会堂のあり方そのものを検討していく必要があると考えています。

今後は、まず被災した建物の乾燥・調査と必要な応急処置を進め、その結果や保険による補償内容が明らかになった段階で、現会堂の修復だけでなく、大規模な改修・増築、建て替え、あるいは移転なども含め、今後の会堂について祈りつつ検討していきます。移転や建て替えが必要となる場合には、土地の取得も含め、さらに多額の費用が必要になることが予想されます。

火災保険から一定の保険金が支払われる見込みですが、被害の全容や補償額はまだ確定しておらず、今後の復旧や会堂のあり方によっては、保険金だけではまかないきれない多額の費用が必要になることが予想されます。

また、床下の乾燥や建物の修繕にどの程度の工事が必要になるかも、まだ見通せていません。そのため、礼拝堂が完全に復旧し、これまでのように使用できるようになるまで、どのくらいの期間を要するのかも現時点では分からない状況です。

このような状況を踏まえ、真砂バプテスト教会の復旧のため、皆さまにご支援をお願いすることといたしました。

お寄せいただいた支援金は、今回の水害からの復旧、床・壁等の修繕、被災した家具・備品等の撤去・廃棄処分、椅子・講壇等の備品や音響設備等の復旧・更新、建物の安全対策や今後の災害リスクへの対応のために大切に用いさせていただきます。また、今後の検討の結果、必要となった場合には、会堂の大規模改修・増築、建て替え・移転、および土地取得等のためにも用いさせていただきます。

今後、被害状況や必要となる工事、復旧の見通しなどがさらに明らかになりましたら、あらためてご報告いたします。

何よりも、真砂バプテスト教会のために続けてお祈りいただけましたら幸いです。この困難の中にあっても、主の守りと導きを信じながら、一つひとつ復旧を進めてまいります。

皆さまのお祈りとお支えを、心より感謝申し上げます。

「私は倒れても起き上がる。私は闇の中に座しても、主が私の光だ。」（ミカ書7章8節）

真砂バプテスト教会 教会員一同

牧師：倉嶋新

副牧師：荒川紀子

国内派遣宣教師：永井創世

【支援金送金先】

ゆうちょ銀行 （記号）10520 （番号）38636501

口座名 日本バプテスト教会連合 真砂バプテスト教会

ゆうちょ銀行以外からの口座振込

（店名）058 ゼロゴハチ 普通（番号）3863650

* 領収書・受領確認等が必要な場合は、下記までご連絡ください。

mbc.zaimu@gmail.com

真砂バプテスト教会 財務





